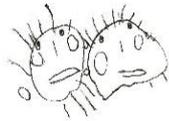


いっぽ だより



はじめのいっぽ
2021年9月30日



散策の途中、秋を発見する機会が増えて来た今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしのことでしょうか。

はじめのいっぽの子どもたちは、おかげさまで元気いっぱい日々走り回っております。

先日、河川敷で凧揚げをしていたところ「せんせー凧たべられるー」と、子供が叫んでいました。なんのことかと空を見上げると、大きな雲が人の顔の様に凧に迫っていました。

子どもたちの発想の凄さにびっくりしたとともに、全体を見ることの大切さをあらためて実感しました。

また、9月21日の中秋の名月のためススキを途別に採りに行きましたが、今までススキと思っていたものは、似ているけど違うものだということも植物博士の〇〇君に教えてもらいました。そしてちゃんと本物のススキを飾り当日を迎えることが出来ました。残念ながら子どもたちのいる時間に月は出てきませんでした。月を見ているつもりでお団子を頂くことが出来ました。頑張ってお探したススキを依り代に、神様が下りてきてくれたことでしょうか。

このように私たちいっぽのスタッフは、子どもたちが成長したときに、素敵な日本の伝統や9月の爽やかな空を思い出し、継承して行って欲しいと日々いろんな活動を行っております。これからも、はじめのいっぽを暖かく見守り続けて下さい。



お知らせ

障害者差別解消法認知度調査の実施について

9月21日、北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課より障害者差別解消法認知度調査の実施についての依頼がメールにて関係機関に通達されました。調査対象は、障がいのある方、そのご家族、障がい福祉関係者など幅広く適応となっております。調査内容及び調査協力に関心があれば、はじめのいっぽ山本(渉)までご一報いただければ、詳しい通達内容をお渡しいたします。 TEL 0155-66-6603

小中学生編

いっばの収穫

9月のいっばは、ジャガイモ・えだまめ・カボチャ他にもたくさんの野菜の収穫がありました。収穫した命を、自分たちの手で食材に変え、自分たちの手で調理し、みんなで美味しくいただく・・・自分たちで収穫した豆が一粒でも無駄にならないように丁寧に優しく取り扱う子どもたちは年ごとに成長を感じる姿を見せてくれました。まさしく食育の原点と思います。



枝豆は途別で4回に分けて収穫。そのつどみんなで豆をもぎ取りすぐに茹で上げ、おやつになったり冷凍保存したり、葉っぱはミーとマーにと大切な命を丁寧に扱うこころを養っています。



岩内の畑から収穫されたじゃがいもは、薪ストーブで茹でられ、子どもたちの手でコロケバーガーに変身!! いっばい収穫された芋は、いっばの冬のおやつに変身していきます。



中秋の名月の日、途別のカボチャを収穫し、みんなでカボチャをいただき、月は出ていませんが気分だけでもとススキとだんごを用意し「中秋の名月」気分を味わいました。

その他の活動

いっばでは、シーソーや天体望遠鏡を使った天体観測が流行りです。

今公園ではいろんな遊具が撤去されていますが、その理由は一言“危険”だからです。

シーソーなどは相手と協調しながらバランスをとることが必要です。本来はこんな遊びの中から相手のことを考え危険を避けることを学んでいくことが出来るのですが大人側の難しいいろいろな問題がからんで来るのだと思います。いっばでは出来る限り、遊びの中からもいろんなものを学んで欲しいと考え、スタッフも一緒になり子どもたちとどんな危険があるのかを考え話し合いながら一生懸命遊んでいます。

また、天体観察では9月に入り、いっばにいる時間内で月がぎりぎり南東の空に見ることが出来ます。宇宙博士のY君は「今日の月は月齢〇〇日で〇〇の方向から〇〇時に見えてくる」と日々観察しています。今では天体望遠鏡のセッティングも自分で出来るようになり、自分で捉えたお月さんをお友達に披露しています。子どもたちの興味あることを大切にじっくりと育ててあげたい、そして時には思いっきり弾ける遊びをスタッフも一緒に経験していけたらいいなあと思っています。



ひつじ組 編 (午前未就学児)

日々の活動



今月より、とってもかわいい3歳の男の子2人が仲間入りしました！まだ来て数日ですが、アツという間に打ち解け、朝からお友達の姿を見て自然とニコニコ♪その表情から安心した気持ちも溢れ出しています！これからどんな羊組さんになるのか楽しみです☆

また、人数が増えたことにより、利用する曜日の変更などでご協力を頂いたご家庭もあり、ありがとうございました。



【静の活動】

いっばでは毎朝の絵本の読み聞かせやあいさつの時間など、少しの間でもイスに座り人の話を聞いたり、みんなで手遊びをする“落ち着いた時間”を大切にしようと心がけています。こうして身に着いた生活リズムの中で、「そろそろ絵本の時間だからイスを準備しよう」と、自らおもちゃを片付け始めたり、イスをテーブルまで運んだり、周りの大人が声をかけなくても、自分から行動できるようになってきています。



【外活動】

涼しい日が続いたと思うと急に暑くなったり・・・気温の変化が激しくなるこの頃ですが、その日その時の天候や体調に合わせて、心地よく無理のない時間を大切に過ごしています。



【秋がやってきた】落ち葉拾いや気の実集め、秋野菜の収穫や、キリギリスの声に耳を傾けるなど、自然の中で遊びながら季節を五感で感じ、感受性豊かな心を育てています。この積み重ねた体験から学ぶ多くの知識は、大人になっても忘れることはないでしょう♪

ちょっとコラム

【仲間の力】以前のコラムでもたびたび紹介させて頂きましたが、いっばに来てから羊に触れることが出来るようになった最年少のH君！！夏には仲間の力を借りてプール遊びにも挑戦するなど、日に日に自信をつけていくなか、今度は自分がお友達の手を取り、そっとサポート！！

“ゆっくり”“じっくり”“ていねいに”子どもを信じて待つことで、自ら成長していくその姿に、見守るスタッフもとても嬉しくなる瞬間でした。



そーっとそーっと！！



こわくないよ～！



できたね♪

9月のショット



ひとことコラム

70年分の疲れをとろうと少しだけ“自宅で休もう”とお休みをもらっていました。
気付けば周囲の木々も色づき始めはじめ 秋の気配もチラホラ・・・
焦りを感じながらも、一日も早く子どもたちに会える日々を楽しみにしております。

石橋 わか子
(令和3年9月29日)